

令和7年度 農作物病虫害発生予察4月月報

令和7年(2025年)5月1日
山口県病虫害防除所

I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平均			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
4.1	10.2	11.8	△ 1.6	16.9	18.0	△ 1.1	4.3	6.1	△ 1.8
4.2	14.7	12.7	2.0	22.4	19.0	3.4	7.8	7.0	0.8
4.3	12.1	13.6	△ 1.5	17.0	19.8	△ 2.8	7.1	7.8	△ 0.7
4.4	18.0	14.4	3.6	24.6	20.6	4.0	12.4	8.7	3.7
4.5	17.2	15.2	2.0	22.4	21.3	1.1	12.1	9.4	2.7
4.6	15.8	16.2	△ 0.4	24.0	22.3	1.7	7.9	10.3	△ 2.4
平均・計	14.7	14.0	0.7	21.2	20.2	1.1	8.6	8.2	0.4
月・半旬	降水量(mm)			日照時間(h)					
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
4.1	2.0	24.8	△ 22.8	32.2	28.7	3.5			
4.2	5.0	25.7	△ 20.7	41.4	29.4	12.0			
4.3	69.5	27.5	42.0	26.5	30.2	△ 3.7			
4.4	0.0	29.9	△ 29.9	39.4	30.7	8.7			
4.5	48.5	30.4	18.1	27.4	31.4	△ 4.0			
4.6	1.5	29.6	△ 28.1	51.9	32.3	19.6			
平均・計	126.5	167.9	△ 41.4	218.8	182.7	36.1			

II 作物の生育状況

- (1) コムギ : 出穂期及び開花期は平年より遅く、穂数は平年並～やや少ない見込み。3月の降水量が平年に比べ多かったため、湿害が発生しているほ場が散見される。
- (2) ナシ : 開花始めは平年より遅く、一部の開花の早い品種で霜害が確認されている。また、降雹等が一部の産地で確認された。
- (3) イチゴ : 気温が低めに推移したものの、日照時間が確保できたため出荷は順調に進んでおり、現在、4～5番果が収穫されている。
- (4) タマネギ : 気温が低く推移した影響で、定植が遅れたほ場を中心に草丈、生葉数ともに平年を下回っている。

Ⅲ 病害虫の発生状況

1 普通作物

2025年4月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
イネ イネミズゾウムシ	4月1日～4月24日の予察灯(県内3か所)の誘殺数は0頭(平年0.1頭)で平年並みであった。	—	—
コムギ (調査ほ場数:17) さび病類	中旬、下旬の巡回調査では、発生は認められず、平年並みであった。	—	—
うどんこ病	中旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年1.2%)、発病葉率0%(平年0.4%)、発病面積率0%(平年0.0%)で平年並みであった。	—	—
黄斑病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年20.6%)、発病莖率0%(平年8.7%)で平年に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率58.8%(平年27.9%)、発病莖率22.8%(平年18.0%)、発病度6.2(平年5.1)で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 965
縞萎縮病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率5.9%(平年4.1%)、発病莖率2.8%(平年1.8%)、発病面積率3.5%(平年1.6%)で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.9%(平年5.3%)、発病莖率2.4%(平年3.9%)、発病面積率3.5%(平年3.9%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	甚 96
赤かび病 (調査ほ場数:9)	下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	—	—

2 果樹

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
ナシ (調査ほ場数:15) 黒斑病 (二十世紀:9)	下旬の巡回調査では、発生は認められず、平年並みであった。	—	—
黒星病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年2.7%)、発病葉率0%(平年0.0%)、果そう基部発病率0%(平年0.1%)で平年並みであった。	—	—
赤星病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年1.4%)、発病葉率0%(平年0.1%)で平年並みであった。	—	—
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年8.1%)、寄生葉率0%(平年0.2%)で平年並みであった。	—	—

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
ナシ アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年6.1%)、寄生新梢率0% (平年0.1%) で平年並みであった。	—	—
チュウゴクナシキ ジラミ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年2.0%)、寄生葉率0% (平年0.0%) で平年並みであった。	—	—
ナシヒメシンクイ	フェロモントラップ(萩市小川、4月1日～4月25日合計)における誘殺数は49頭 (平年88.1頭) で平年に比べやや少なかった。	—	—
キウイフルーツ (調査ほ場数: 3) かいよう病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年14.8%)、発病葉率0% (平年0.8%) であった。	—	—

3 野菜

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イチゴ (調査ほ場数: 20) うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.0% (平年19.7%)、発病株率0.7% (平年4.0%)、発病葉率0.3% (平年1.5%)、発病果率0.0% (平年0.5%) で平年に比べ少なかった。	県内全域	少 5
灰色かび病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0% (平年23.5%)、発病株率1.0% (平年2.1%)、発病果率0.2% (平年0.5%) で平年並みであった。	県内全域	少 20
菌核病	下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	—	—
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率40.0% (平年23.0%)、寄生株率14.5% (平年5.5%) で平年に比べ多かった。 主要種はワタアブラムシであった。	県内全域	多 5 中 15 少 20 計 40
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率40.0% (平年44.5%)、寄生株率18.8% (平年22.7%) で平年に比べやや少なかった。 主要種はナミハダニであった。	県内全域	甚 10 中 5 少 25 計 40
コナジラミ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年30.5%)、寄生株率0% (平年8.6%) で平年に比べ少なかった。	—	—
アザミウマ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率85.0% (平年56.4%)、寄生花率14.8% (平年12.2%) で平年並みであった。 主要種はヒラズハナアザミウマであった。	県内全域	甚 40 多 10 中 20 少 15 計 85

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
タマネギ (調査ほ場数：中旬 28、下旬27) べと病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率11.1% (平年20.1%)、発病株率0.4% (平年 4.6%)、1 a調査 (一次感染株) 発生ほ 場率7.4% (平年13.3%)、1 a当たり越 年り病株数0.3 (平年2.1) で平年並みで あった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率7.4% (平年35.8%)、発病株率3.0% (平年 11.9%) で平年に比べ少なかった。	県内全域	少 18
白色疫病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年4.8%)、発病株率0% (平年 0.4%) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平 年1.6%)、発病株率0% (平年0.2%) で平 年並みであった。	—	—
腐敗病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年13.1%)、発病株率0% (平年 0.7%)、1 a調査発生ほ場率22.2% (平年21.7%)、1 a当たり発病株数0.9 (平年2.9) で平年に比べやや少なかっ た。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平 年9.9%)、発病株率0% (平年0.6%) で、 平年に比べ少なかった。	—	—
ボトリチス属菌に よる葉枯れ症(白斑 葉枯病)	中旬の巡回調査では、発生は認められず 平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平 年0.4%)、発病株率0% (平年0.0%) で平 年並みであった。	—	—
さび病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平 年0.7%)、発病株率0% (平年0.1%) で平 年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平 年0.5%)、発病株率0% (平年0.1%) で平 年並みであった。	—	—
軟腐病 萎黄病	中旬、下旬の巡回調査では、発生は認め られず平年並みであった。	—	—
ネギアザミウマ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平 年8.3%) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率18.5% (平年19.8%) で平年並みであった。	県内全域	少 30

お問い合わせ先
山口県病害虫防除所
TEL (0835) 28-1211
E-mail a172011@pref.yamaguchi.lg.jp